



高田小だより

「自主、自立、自信」やればできるの体験を支える学校づくり

R3. 8月26日 発行
文責：校長

目標を持ってがんばるぞー！

感染防止と対応力強化で2学期がスタート

36日間の夏休みも終わり、高田小学校に子どもたちの笑顔と元気な声が戻ってきました。子どもたちは夏休みをどう過ごしたでしょうか。8月以降は新型コロナウイルス変異株（デルタ株）の感染が県内で急増し、心配も多かったと思います。また、お盆前から一週間以上も続く長雨と記録的な雨量で、コロナ禍でのご家族の計画も変更を余儀なくされたのではないのでしょうか。今まで以上に子どもたちをコロナウイルスの脅威から守り、安心安全な学校生活を送ることができまますよう職員一同力を合わせて参ります。二学期もどうぞよろしくお願いいたします。

先に行われた東京オリンピックでは、日本代表選手団は金メダル27個含む史上最多58個のメダルを獲得して閉幕しました。元氣と勇氣、そして希望を与えてくれた全ての選手みなさんに感謝と心からの拍手を送りたいと思います。また、24日からパラリンピックも開催されました。高田小の子どもたちには、様々な障がいのあるアスリートたちが創意工夫を凝らして限界に挑む姿勢を学んでほしいと思います。

さて、25日（水）の始業式で子どもたちに次のような話をしました。



- 一、礼儀正しくあいさつをする
- 二、履き物をきちんとそろえる。
- 三、目標の達成に向けて、こつこつと努力する

一つ目の「礼儀正しいあいさつ」とは、地域の方や学校に来校される方に対してのあいさつと、感謝の気持ちを伝える「ありがとうございます」も丁寧に言えるようにしてほしいと話しました。

二つ目の「履き物を揃える」は、『くつ箱のくつや学校のトイレのスリッパをはじめ、学校外施設や自分の家でも履き物を揃える気持ちと習慣を身に付けましょう』と話しました。永平寺の道元和尚の教えに『脚下照顧（きやつかしようご）』というものがあります。漢字の意味は、「足下を照らし、顧みよ」ということだそうです。他に対して理屈を言う前に自分の足もとをよく見て、自己を反省しなさいという意味だそうです。転じて「履き物をきちんとそろえることで、自分の行いをよくみて考えましょう」ということを諭しています。ご家庭でもご指導お願いいたします。



パソコン室から式の様子を配信している様子

ですが、目標を見つけ努力すること、人生を豊かにすることにつながると思っています。職員一同、子どもたちに「がんばってよかった」と思えるよう、目標を持たせ、努力の後押しを支援していきたいと思えます。

コロナ感染予防対策強化

コロナウイルス感染が以前よりはるかに大きく、速く拡大しており、今後の教育活動への影響を懸念しています。感染力がとも強く、いつ、誰が感染してもおかしくない状況です。

先日、学校から「新型コロナウイルス感染防止対策」のプリントを配付しました。今回の感染拡大の傾向として、家庭内感染の増加が挙げられています。子どもやご家族、友人を感染から守るためにも、プリントを熟読の上、ご家庭での感染防止対策の強化と徹底をお願いいたします。今後、学校では万全の感染防止

がんばった水泳教室

7月下旬に、泳ぎが苦手な子どもたちの泳力を伸ばすために、三日間水泳教室を行いました。水中でリラククスして浮く感覚を身に付ける練習をしたり、「伸び」の姿勢を保たせながら、体の沈み込みを防ぎ、前に進む方法を練習したりするなど、全職員で子どもたちを指導しました。最終日にはほとんどの子どもが距離を伸ばすことができ、喜んでいました。



止対策を行います。急遽、臨時休校等になった場合に備えて遠隔授業で学習を進めていく体制を次の手順で整えていきます。

- ① 校内でリモート授業を試し、子どもが自宅でもスムーズに接続できるようにする。
- ② 九月九日（木）に全児童がタブレットを持ち帰り、接続テストを行うことで、様々な課題等を整理する。
- ③ 課題に対しての解決策を考え、よりスムーズに遠隔授業ができるようにする。
- ④ 不測の事態に備え、準備が整い次第、タブレットを毎日持ち帰る。

以上の流れで準備を進めていきます。臨時休校等で、子どもが自宅で過ごすことになった場合は、保護者の皆様に負担をおかけすることになると思いますが、何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。